

▼4月22日祥月命日合同法要
[上野隆平師]



花まつり▲

4月の
行事の様子

しんらん同人

No.544
5・6
月号

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

がる気が致しております。

四月の「天声人語」に次の記載があります。

「ランチに欠かさず水か果物を摂る。夕食前には必ず十五分間走る。そんな健康的な習慣を身につけるには何日を要するか。

十年ほど前、英国の心理学者たちが実験で得た答えは六十六日だった。

被験者はロンドンの大学院生ら九十六人。一割以上が脱落したが、残りは食事や運動を続けた。六十六日を超えると苦でなくなり、生活に根を下ろしたそうだ……

私の本性はなかなか変えることが出来ません。悪いことはするまい、良いことをしようと思つても出来ないのがこの私です。

しかしその私を思い・助け・育て・見守つて下さる多くの方々への感謝の気持ちとして、私らしい心ゆたかな生き方を求めるいとと思うのであります。

「人生は一日一日の積み重ね。ご恩報謝の生活を!」事務室の壁に貼っている言葉です。

新しい習慣を身につける事が出来る目安の一つが二・三ヶ月と思うことで、多少なりに足らないことなので紙上への記載は致しませんが、良いと思える習慣を身につけることは大切であり、また日々の充実にも繋

早速四月中旬より自分なりのテーマを決めて、こつそり始めた事があります。となるに足らないことなので紙上への記載は致しませんが、良いと思える習慣を身につけることは大切であり、また日々の充実にも繋

他の善も要にあらず。 悪をもおそるべからず。

私の往生の一大事は、ただ阿弥陀仏の願力によるほかには、解決されない。阿弥陀如来のお救いによって、お淨土に生まれさせていただきます。我々の作る善は、人間界では通用するでしょうが、お淨土に通ずる善ではありません。

また、どんな悪も、如來の大願力の前には問題になりません。

「本願を信ぜんには他の善も要にあらず、念佛にまさるべき善なきにゆえに」ともおおせられています。

「往生ほどの一大事、凡夫の計らうべきことにあらず」とも、おおせられています。

さればといって、善をしなくてもよい、悪は止めなくともよいというのではありません。

念佛者とは、眞実を求める者のことあります。最上の善を追求する者であります。

「私は善も欲しくはない、悪も恐れることはない」と、親鸞聖人はおおせられました。ただこの言葉だけを聞くと、全く道徳に無関心か、反道徳的な人であつたように思われましよう。淨土真宗の信者は、こうした教えを信じてているのだから、道徳的に無関心で、生活もだらしがないという非難の声も聞かれます。

また、真宗門徒の中には、非難されるような考え方や、行いをする人があることは悲しいことです。

これは聖人のお心を間違えて受け取ったために、よく聞いていないために、こんな間違いをしているのであります。

「善も欲しからず、悪も恐れなし」とは、往生の問題についてであります。

我々がお淨土に生まれ、仏になるためには、我々の行う善では役に立たないし。我々の行う悪も問題にはならないというのあります。



お同行より
寄贈いただいた作品
本堂の玄関正面に
飾ってあります



「法味抄」より

大きな石でも、船に積めば向こう岸に着く。向こう岸に着いたのは、石の力ではなく全く船の力である。このように浄土に生まれるのは私の力ではなく、阿弥陀仏の御力なのである。だから他力である。

(和語灯録)

走る船に乗つて岸を見ると、岸が走つているように見えることがあるが、岸が走つているのではなく、船が走つてゐるのである。信心は自分の心から起こしてよう見ええるけれども、仏智から起こして下さるものである。

(真宗教要鈔)

罪のあるなしを云々するよりも、信心を得たか、得ないかが一番大切なことである。たとえ罪消えて助けられようと、罪が消えないで助けられようと、助けられるることは如来のおはからいによることである。私ははからえることは全くない。信心こそ最も大切である。

(聞書)

「法味抄」は、故岡本泰雄が「聖語を読みたいと思っても、漢文や古文で書かれているのでなかなか理解しにくい。わかりやすい仏教書がほしい。」という方々の願いに応じて、真宗聖教中から要文を抜き出し、意訳した冊子です。

聖語末の（ ）内の文字は聖教の書名を略記したものです。



誓願寺 INFO

本年よりご講師にお願いし、定例法座の法話テーマを第二日曜日「正信偈」第四日曜日「歎異抄」として進めていただいています。いずれも浄土真宗にとって大切なお聖教・書物であります。またご聴聞の皆様には「書いて味わう 正信偈」「傍訳 歎異抄」をお配りしております。

【ご法座等のご案内】

5月

5・13
(日)

午前十時 「正信偈」
定例法座 【岡本信之師】

午前十時 「正信偈」
定例法座 【岡本信之師】

午前十時 「正信偈」
定例法座 【上野隆平師】

正午 医療相談 【佐藤公彦医師】

正午 医療相談 【佐藤公彦医師】

6・10
(日)

6月

5・20
(日)

午前十時
なかよしクラブ
※ 安藤けい * ひとり人形芝居

午前十時
なかよしクラブ

なかよしクラブ
(乳幼児から小学生まで)

5・27
(日)

午後一時 「歎異抄」

永代経・祥月命日合同法要

【高田慈昭師】

6・17
(日)

午前十時
なかよしクラブ
… (*「けい」は又に土)
（乳幼児から小学生まで）

午後一時 「歎異抄」

定例法座・祥月命日合同法要

【高田慈昭師】

編集後記

三月末に、腎臓がん手術後、二度目の半年検診を受けました。お陰さまで、特段の異常もなく治療薬の投与も受けず、半年後の検診予約を行い帰つてまいりました。検診前はやはり不安でしたが、改めて健康の大切さを感じた次第です。

月二度の法座後に開催いたしております「念佛交流会」。ご講師の先生にはお疲れの中とは存じますが、さまざまな質問や当日のご法話の更なる解説もいただきながら有意義な時間をお過ごさせていただいております。今まで未参加の皆様もお気軽にご参加されます事を願つております。

リキも、人間の年齢に換算致しますと百歳位で、日々の生活は、年齢相応になり、終日玄関わきで眠ります。朝夕四回程の散歩もだいぶ辛いようですがなんとかついて来てくれるそうです。(坊守談)

お同行の皆様から「リキ」は元気でいるかとのお問い合わせをいただきます。月一度のシャンプー後の写真をお届けします。



〔シャンプー後
すつきり顔のリキ〕